



5 月 5 日千葉県そうさ匝瑳市へエコメッセも会員である市民電力連絡会が主催したソーラーシェアリング(営農型ソーラー)の発電所見学会に行ってきました。



ソーラーシェアリングは農地に支柱を立て、その上に設置したソーラーパネルで発電し、下の農地で農作物を生産します。営農を続けながら発電し、自家消費や売電もできることから、食料とエネルギーの自給双方につながる注目の発電です。

市民エネルギーちばの宮下さんから「日本の農地の 18%でソーラーシェアリングすれば国内の年間消費電力を再生可能エネルギーで賄える」「農地の上にパネルがあることで適度な日陰ができ農業者や作物にとっても良い」「新技術のペロブスカイト太陽電池に注目」等詳しい説明

を受けました。リサイクルの状況や、製造者責任、ほとんどが海外製などについて参加者から活発な質問や意見が出され有意義な見学会となりました。(理事 後藤優子)

今年 4 月から江戸川区の中学校で、匝瑳市のソーラーシェアリングで発電される電気の一部を使用しています。まだ 1 校だけですが、学校はもちろん、地域の町会、自治会、企業など地域全体で地球温暖化対策を考えるための取組が始まっています。その匝瑳市で開催された「アースデイ ちば匝瑳市」に、廃食油で走る「てんぷらバス」で行ってきました。心なしかてんぷらの香りがするバスはレトロな感じあり、廃食油を精製して再度使用していると思うだけでも楽しい気分になりました。



匝瑳市は、昨年 11 月に環境省の「脱炭素先行地域」に選定され、ソーラーシェアリングを中心とした脱炭素化推進プロジェクトを行っています。農業の担い手がいない耕作放棄地で、農業だけの収入以外に売電による収益があがることで若い人たちが集まり農業法人を作り取り組んでいました。



細型パネルを採用したオフサイト型営農型太陽光発電を行い、発電した電力は「しおさい電力」を経由して供給されています。麦や大豆が適しているという畑は、すでに収穫されたあとでしたが、畝を綺麗に作ってあり丁寧に作業されている様子が見受けられました。(理事 伊藤ひとみ)

エコメッセ昭島店は、ロイダッツによる店舗のデザインサポートで素敵なお店に大変身(リ・デザイン)しました。

\*ロイダッツとは、山崎亮と studio-L が取り組む社会貢献型のショッピングを体験できるアートプロジェクトとしての「チャリティショップ」。

Before



After



《変更のポイント》

通路の上・棚の上に設置された商品カゴを除き、通路幅を確保することで、それぞれの商品の棚を見やすく、手に取りやすくした。



《変更のポイント》

ファッションアイテムゾーンに紛れていた雑貨や食器を移動し、設置場所が離れていたショールやマフラー、アクセサリ等のファッションアイテムを同じゾーンに集約した。

▶会話時のコミュニケーションを取りやすくする



《変更のポイント》

レジに設置していたビニールパーテーションを撤去し、店員の顔が見えるようにした。チラシラックをレジ前の壁面に設置し、掲示物を集約した。

## インフォメーション

出張エコメッセ

**今日からはじめる SDGs**

《リユース着物販売》

日時：7月5日(金)14:00~17:00

7月6日(土)11:00~17:00

7月7日(日)11:00~16:00

会場：デポーすぎなみ永福3階

(杉並区和泉3-7-1)

★エコメッセ活動紹介 ★高級リサイクルきもの

★リメイク品 ★環境防災グッズ

さがみこファーム

**オフサイト PPA 見学会**

相模原市緑区三ケ木 250-1 カサグランデ津久井 202

日時：7月15日(日・祝)

会場：さがみこファーム

JR・京王線 橋本駅 9:30 集合

先着 14名 (車の方はご相談)

参加希望の方は、電話でお申し込みください

TEL 03-6453-2442

